



# 横浜さかえ内科通信

## 令和8年4月1日から肺炎球菌ワクチンの種類が変更になります

肺炎は日本人の死因の第5位を占める重要な疾患であり、その約95%が65歳以上の高齢者に発症しています。なかでも肺炎の原因菌として最も多いのが「肺炎球菌」です。肺炎球菌は、鼻やのどに常在する細菌の一種で、通常は病気を引き起こしません。しかし、免疫力が低下した際に増殖し、肺炎の原因となることがあります。特に注意が必要なのが、肺炎だけでなく、敗血症や髄膜炎など命に関わる合併症を引き起こす「侵襲性肺炎球菌感染症」です。65歳以上の高齢者や、心臓病・糖尿病・慢性肺疾患・腎臓病などの基礎疾患をお持ちの方では、発症リスクが高いことが知られています。この肺炎球菌による

肺炎を予防するワクチンが「肺炎球菌ワクチン」です。令和8年4月1日からは、国の制度変更により、使用するワクチンが23価肺炎球菌ワクチン（ニューモバックスNP）から、20価肺炎球菌結合型ワクチン（プレベナー20）へ切り替わります。

### ■なぜ「プレベナー20」に変更されるのか？

これまで定期接種で使用されていた23価肺炎球菌ワクチン（ニューモバックスNP）は、約5年で免疫が低下するため、5年ごとの再接種が推奨されてきました。しかし、2026年4月から導入される20価肺炎球菌結合型ワクチン（プレベナー20）は、強い免疫記憶を作る「結合型ワクチン」であるため、

原則として一生に一度の接種で長期的な予防効果が期待できます。

### ■定期接種の対象者と注意点

【対象となる方】

- ・65歳の方（横浜市からクーポンや案内が届く方）
- ・60～64歳で、心臓・腎臓・呼吸器などに重い疾患をお持ちの方

### ■当院でのご予約・受診方法

4月からの新制度移行に合わせ、以下の通り対応いたします。

予約開始は2026年4月1日（水）より

ご予約いただいたくもの

- ① 予診票（60～64歳の対象者や、転入などにより予診票をお持ちでない方は、区役所でお受け取りください。）
- ② 住所・氏名・生年月日を確認できるもの（マイナンバーカード、運転免許証など）

※60～64歳の方は、身体障

害者手帳や診断書など、障害の程度が確認できる書類も必要です。

③ 接種費用…5000円

※以下の方は、所定の書類を提出することで接種費用（5000円）が免除されます。

- ・ご本人を含む世帯全員が市民税非課税世帯の方

- ・生活保護を受けている方
- ・中国残留邦人等で支援給付を受けている方

- ・区役所で発行される「成人用肺炎球菌ワクチン予防接種自己負担免除対象者確認書」をお持ちの方。

### ■新しい肺炎球菌ワクチンのご紹介（キャップボックス）※ 自費ワクチン

肺炎球菌には約100種類の血清型が存在し、ワクチンが予防できる範囲は、カバーする血清型の種類と数によって異なります。「キャップボックス」は、成人の肺炎球菌感染症予防に特

化して開発された21価肺炎球菌結合型ワクチンです。従来のワクチンでは対応できなかった新しい血清型を含んでおり、侵襲性肺炎球菌感染症の原因として報告されている血清型の約80%をカバーするとされています（ニューモボックス…約57%のカバー率、プレベナー…約56%のカバー率）。また、このワクチンも「結合型ワクチン」であるため、原則として一生に一度の接種で長期的な予防効果が期待できます。さらに、ニューモボックスやプレベナー20と組み合わせることで、より広い血清型をカバーする予防効果が期待できます（下図参照）。

**横浜さかえ内科**  
SAKESTA近くの  
本郷台駅前メディカルモール  
〒247-0007  
横浜市栄区小菅ヶ谷1-5-1-A  
パークホームズ横浜本郷台そば  
JR本郷台駅徒歩3分  
電話 045-897-5515

侵襲性肺炎球菌感染症の原因となった血清型分布と各ワクチンが対応する血清型

